

## 伊勢湾貧酸素情報（第5報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

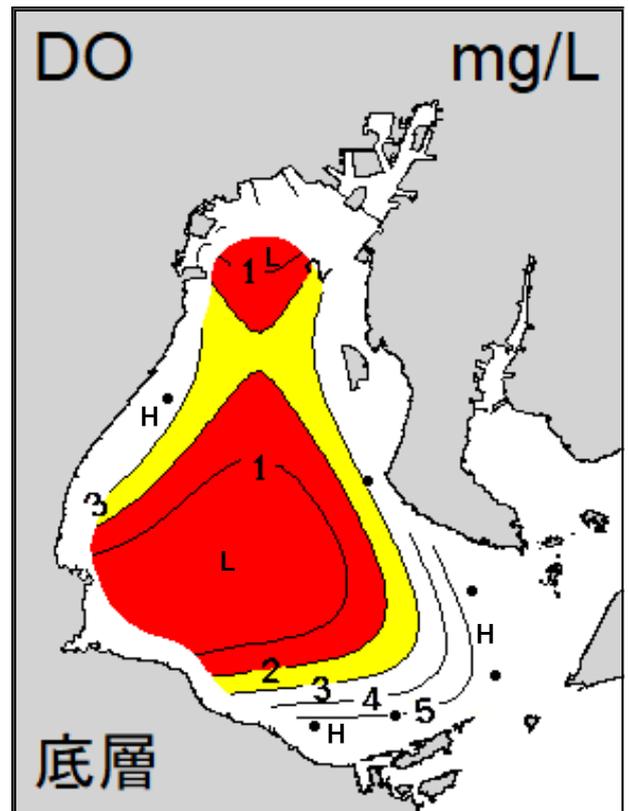
### 10月1日の調査結果

10月1日の調査船「あさま」の定線観測（速報値）によると、水温は表層で 25.6～27.0℃、10mで 24.8～25.4℃、底層で 22.2～25.8℃の範囲にあり、表層と 10m は平年よりかなり高め、底層は平年より高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 6.1～10.9ppm、10mで 3.2～6.7ppm、底層で 0.1～6.0ppmの範囲にあり、表層、10m 及び底層は平年よりやや低めとなっていました。

底層では湾中央部から湾奥よりに 2ppm以下の貧酸素水塊が広く形成されています。

伊勢湾では、今後海水の上下混合が起りやすい時期となるため、貧酸素状態は徐々に解消に向かうものと考えられます。



底層貧酸素水塊分布図